

研究可能テーマ

研究可能テーマ	研究指導者	受け入れ可能院生数
<p>(1) 都市生活環境と健康に関する疫学研究とリスク評価</p> <p>都市生活の急速な変化に伴って従来は存在しなかった環境要因の安全性が問題になることが多くなった。当教室では国内外の諸機関との共同研究として、電磁界曝露と小児がんの症例対照研究、携帯電話利用と脳腫瘍に関する症例対照研究等を実施しており、それらの疫学研究に実際に参加して、計画策定、調査実施と情報収集、解析の各段階で研究を行う。また、世界中で報告された関連する医学文献を系統的に収集し、その質的評価、メタ分析、プール分析等による量的評価等を通じて安全性に関するリスク評価を行う。これらの活動を通じて、疫学研究を企画、実施する能力を身につけ、さらに科学的根拠に基づくリスク評価の能力も身につけることが可能である。</p>	<p>山口教授 小島原准教授 佐藤講師</p>	<p>1</p>
<p>(2) 行動科学および社会科学を応用した疫学研究</p> <p>行動科学を応用した疫学研究（行動疫学）は人の健康行動を科学的に追及することでその法則性を明らかにするものである。社会科学を応用した疫学研究（社会疫学）は、健康を規定する社会的な因子について明らかにするものである。当教室では、運動の意識や行動の変容に関する研究や、禁煙の意識および行動に関する研究を実施してきた。このプログラムでは、テーマを決め、調査を計画・実施したのち、さまざまな統計モデルを用いることで、行動や社会が健康に与える影響について分析・検討を行う。</p>	<p>山口教授 佐藤講師</p>	<p>1</p>
<p>(3) 臨床における診断・治療方法の疫学的評価に関する研究</p> <p>当教室では臨床医学の教室との共同研究として、診断治療方法の疫学的評価に関する研究を実施している。このプログラムでは臨床系の大学院生を一定期間受け入れ、実際の臨床上の問題を研究テーマとして、研究計画の策定から研究の実施、統計解析まで実務的トレーニングが可能である。</p>	<p>山口教授 岡本教授 小島原准教授</p>	<p>2</p>